

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 小川郁男 様

施設名 ファインハイム  
氏名 木森寛

## 研修会報告書

研修会名	第1回リハビリ関係職員研修会				
日時	2019年6月9日(日)10:00~16:30				
会場	埼玉県県民活動総合センター セミナーホール2				
講師	中野 佳子 氏(理学療法士) 永原 俊昭 氏(理学療法士)				
参加人数	33名(講師・研修委員含む)				
研修委員 (氏名・施設名)	・松本 宏明(プライムケア川越)・永原 俊昭(トワーム熊谷) ・高橋 昌(シルバーケア敬愛)・小野田 恵(栗橋ナーシングホーム翔裕園) ・神山 知子(遊)・黒崎 真(戸田市立介護老人保健施設) 田村 真人(やまざくら)・木森 寛(ファインハイム)				
研修会のテーマ	『リハビリ関係職員初任者研修会』 講義①「生活リハビリについて」 講義②「コミュニケーション・接遇について」				
研修会の評価	アンケート回収枚数	25 枚	3. グループワーク	4.4 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4.4 5	4. 研修会の進め方	4.3 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	22 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	<p>過去の参加者アンケートから、今回グループワークの時間を60分から100分に変更し実施した。また1講義90分を40分2回の講義に分割し10分間の休憩を設けることとした。効果として参加者が集中して講義を受ける様子やグループワークでは意欲的に話し合う姿が見られた。アンケートでも時間配分についての要望はなく、今回の時間配分で適当だったと考える。</p> <p>自分自身が講義を受けて感じた事は、老健での自身の立ち位置や働き方、セルフコントロールの方法や多職種協働についてなど、老健で働く上での大切な考え方を改めて考える機会となり、実りのある時間となったと感じた。</p> <p>反省会では参加者数の減少について、他の研修会と同日開催になったことや年々初任者として老健に勤務する職員数が減っている可能性について意見が出た。</p> <p>研修内容は初任者向けの内容ではあるが、経験を積んだ職員でも自らの業務の振り返りや老健職員としての考え方のブラッシュアップに繋がる内容なため、次年度参加案内作成時には初任者以外にも参加しやすい文面での参加案内作成を心掛ける必要を感じた。</p> <p>また、意見として事務局から借りたノートパソコン一式の一覧写真と内容物が違ったことや使用機器(レーザーポインター)の取り扱い方が分からず困惑したとの声が上がった。</p> <p>当日のスムーズな運営に向けて事前準備で解決できるポイントは改善できればと考える。その他の点では研修会開催にあたっての不備や不足もなく研修会が円滑に実施出来ましたこと、埼老健理事會並びにご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>				

\*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。